

## 2024/3期通期連結業績予想を修正 連結子会社フォースタートアップス株式会社の 全株式売却を表明

### サマリー

▼ ウィルグループは2月7日に2024/3期3Q（9か月累計）の連結業績を発表し、同月19日に角裕一社長による決算説明を行った。本レポートでは同社の期初計画と3Qまでの進捗を確認する。ウィルグループは同月22日に子会社であるフォースタートアップス（証券コード：7089、東証グロース市場。スタートアップ企業の人材支援業務に特化）の全株式売却を発表した。ウィルグループは、2023年9月30日時点で、同子会社の過半数以上に当たる54.1%（1,925,400株）を保有している。

▼ セントメディア（現、ウィルオブ・ワーク）は、2013年4月にスタートアップ企業に対する人材支援業務を行うためにネットジンザイバンク事業部を立ち上げた。その後、2016年9月に、成長と変化の速いスタートアップ企業に対して、より柔軟かつ機動的にサービス提供を行うために、同事業部は完全子会社として切り離され、ネットジンザイバンク株式会社（現、フォースタートアップス）が設立された。2020年3月に同子会社は東証マザーズ市場で新規公開されたが、ウィルグループは、異なるビジネスモデルを展開する企業であり、また少数株主保護の観点から、同子会社の自主性を尊重してきた。今後の経営戦略においても、（ウィルグループ取締役会での言葉を引用すると）国内Working事業において、ウィルグループは建設技術者領域、ITエンジニア領域といった人手不足かつ専門性の高い領域における正社員派遣の拡大、外国人管理受託人数の拡大を中期経営計画の中で謳っており、フォースタートアップスが展開する事業領域とは異なる。そのため今回ウィルグループはフォースタートアップスとの資本関係解消を決定したが、双方の企業価値の向上を鑑み良好な関係を保ってゆく予定である。尚、フォースタートアップスの株式売却代金は**運転資本、今後のM&A用資金等**として活用する予定である。

▼ 更に、ウィルグループは3月5日に2024/3期通期連結業績予想の修正を発表した（下表参照）。売上は、セールスアウトソーシング領域並びにコールセンターアウトソーシング領域を含む国内Working事業の減収に加え、コロナ禍後の急激な需要が一巡したことによる海外Working事業の人材紹介領域の減収により下方修正となった。営業利益はフォースタートアップスの株式売却益計上で期初予想を上回る見込みであるが、当期利益は、法人所得税が膨らむため、期初予想を下回る見込みである。

### ウィルグループ 24/3期 連結業績予想修正

百万円、EPSは円、% [IFRS]	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	当利益 ATOP	基本的 EPS
[A] 期初予想 (23.5.11)	144,000	4,200	4,100	2,900	2,800	123.37
[B] 修正予想 (24.3.5)	138,000	4,550	4,600	2,550	2,450	107.94
増減額 (B - A)	(6,000)	350	500	(350)	(350)	—
増減率 (%)	(4.2)	8.3	12.2	(12.1)	(12.5)	—
(参考) 23/3期実績	143,932	5,318	5,146	3,459	3,236	143.20

出所：2024年3月5日適時開示資料よりSIR作成。注：配当予想に変更はない。

### 3Q Follow-up



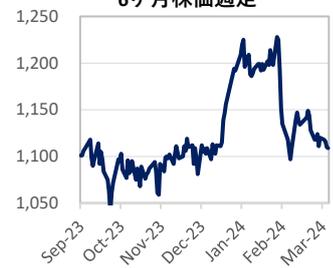
#### 注目点：

高い成長力を持つ人材サービス企業。携帯電話売場、コールセンター、食品工場、介護、建設技術者、スタートアップ企業人材支援などの分野に強みを発揮。海外ではオーストラリア、シンガポール等で展開。

#### 主要指標

株価 (3/14)	1,109
年初来高値 (23/1/24)	1,260
年初来安値 (23/5/31)	1,002
10年間高値 (18/2/2)	2,139
10年間安値 (15/2/12)	275.3
発行済株式数(百万株)	22.944
時価総額 (十億円)	25.455
EV (十億円)	26.326
自己資本比率(12/31)	30.7%
24/3 PER (会予)	10.3x
24/3 EV/EBITDA (会予)	4.0x
23/3 ROE (実績)	24.9%
23/12 PBR (実績)	1.58x
24/3 DY (会予)	3.97%

#### 6ヶ月株価週足



出所：SPEEDAよりSIR作成

#### クリス・シュライバー アナリスト

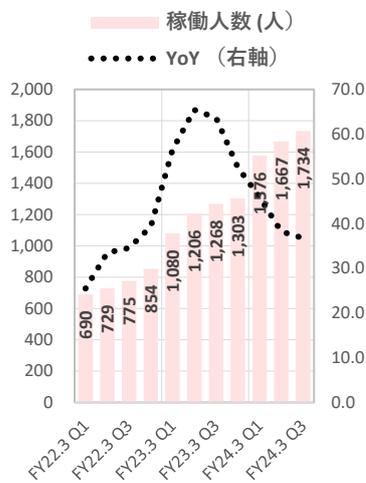
[research@sessapartners.co.jp](mailto:research@sessapartners.co.jp)



本レポートは株式会社ウィルグループからの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームをご覧ください。

**WILL GROUP**

**建設技術者領域**



出所：同社IR決算補足資料よりSIR作成



**建設技術者領域の採用人数は計画比89%進捗  
海外Working事業が通期見通しを若干下回る可能性**

**決算サマリー**

▼ 2024/3期3Q(9ヵ月累計)決算は、売上収益が前年同期比4.3%減、営業利益が同27.7%減、親会社の所有者に帰属する当期利益が同31.4%減であった。売上収益の46.9億円の前年同期増減の主な内訳は、**1)国内Working事業：13億円減** 建設技術者領域+20.9億円、ITエンジニア領域+3.5億円の増収があったものの、コールセンターアウトソーシング領域の需要低迷による減収分に加え、子会社(外国語指導助手派遣事業)株式譲渡による連結除外影響の-25.7億円によって相殺された。**2)海外Working事業：18.8億円減** 為替の影響は+7.6億円だったが、人材派遣の-20.7億円、人材紹介の-5.8億円の減少を相殺できなかった。**3) その他：15.2億円減** 前期の子会社株式譲渡による連結除外影響による。

▼ 9ヵ月累計の営業利益10.7億円減(同27.7%減、営業利益率同0.9pt減)の主な内訳は、**1)国内Working事業：1.6億円減** セールスアウトソーシング領域-3.7億円、コールセンターアウトソーシング領域-3.1億円、連結除外の影響-4.6億円で、建設技術者領域の1.5億円増と子会社株の売却益の+7.8億円の寄与で相殺された。**2)海外Working事業：9.5億円減** コロナ禍後の急激な人材紹介需要が一巡したことによる売上総利益の減少-5.5億円と、人件費等の販管費増加による影響-4.7億円、および為替差益+0.7億円による。国内Working事業での先行投資は、1Q：1.6億円、2Q：3.0億円、3Q：1.2億円と推移しており、状況を見ながら先行投資を取捨選択しつつ、販管費抑制に取り組む。KPIでは、建設技術者領域の採用が好調に推移し(5頁、上から2番目のグラフ参照)、9ヵ月累計の採用者数は過去最高の1,126名となり、通期目標1,270名に対して89%の進捗率となった。ただし、下表の右端列に示した9ヵ月累計の進捗率が低いいため、主に海外Working事業で通期ガイダンスが若干未達になる可能性があるとしてSIRでは考えている。

**ウィルグループ 24/3期3Q累計(9ヵ月) 連結決算サマリー**

百万円、%	FY24.3	%	FY24.3	%	FY24.3	%	FY24.3	%	9M累計
[IFRS]	4-12月	YoY	10-12月	YoY	1-3月	YoY	通期	YoY	進捗率
	実績		実績		会予		期初予想		
<b>連結決算</b>									
売上収益	103,917	-4.3	34,641	-4.5	40,083	13.5	144,000	0	72%
売上総利益	23,107	-4.4	7,698	-3.1	10,343	36.6	33,450	5.4	69%
売上総利益率(%)	22.2%		22.2%		25.8%		23.2%		
販売管理費	21,294	3.8	7,017	-1	7,956	19.6	29,250	7.7	73%
販管比率(%)	20.5%		20.3%		19.8%		20.3%		
営業利益	2,795	-27.6	775	-4.5	1,405	-3.4	4,200	-21	67%
営業利益率(%)	2.7%		2.2%		3.5%		2.9%		
税引前利益	2,719	-27.4	632	-20.8	1,381	-1.4	4,100	-20.3	66%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,564	-31.3	161	-69.9	1,236	29.2	2,800	-13.5	56%
EBITDA	4,415	-18.6	1,349	-7.5	1,875	-7.7	6,290	-15.6	70%
EBITDA マージン(%)	4.2%		3.9%		4.7%		4.4%		
<b>国内Working</b>									
売上収益	61,641	-2.1	20,940	-2.2	24,159	14	85,800	2	72%
連結売上収益率(%)	59.3%		60.5%		60.3%		59.6%		
営業利益	2,996	-5.2	850	-3.8	784	-39.2	3,780	-15.1	79%
営業利益率(%)	4.9%		4.1%		3.2%		4.4%		
<b>海外Working</b>									
売上収益	42,071	-4.3	13,630	-4	15,779	16.1	57,850	0.5	73%
連結売上収益率(%)	40.5%		39.3%		39.4%		40.2%		
営業利益	1,649	-36.7	525	-23.7	1,681	109.3	3,330	-2.2	50%
営業利益率(%)	3.9%		3.9%		10.7%		5.8%		

出所：同社IR3Qファクトブックおよび3Q決算補足資料よりSIR作成

注：3Q決算発表時の進捗。3月5日の修正発表後については前頁を参照。

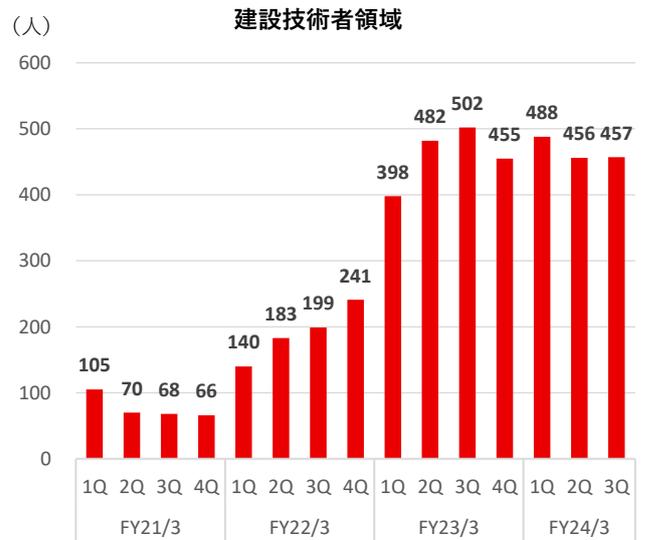
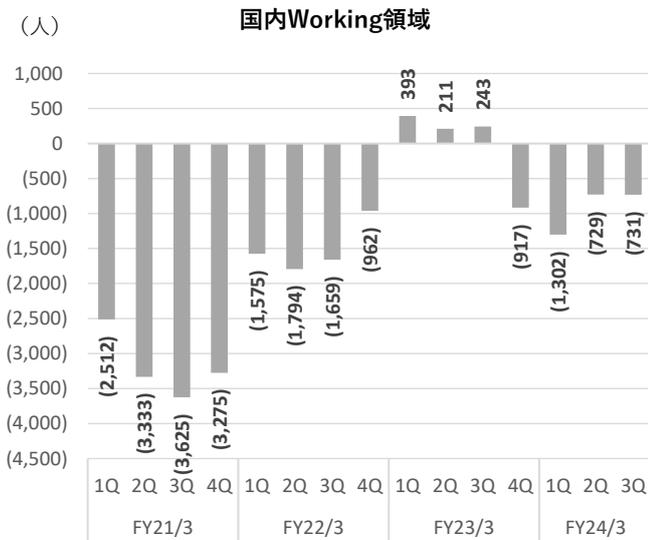
① 国内Working事業 セグメント別補足情報

人、百万円、%	FY21/3				FY22/3				FY23/3				FY24/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>四半期末稼働人員数</b>															
<b>国内Working事業</b>	22,723	22,654	22,472	22,266	21,148	20,860	20,813	21,304	21,541	21,071	21,056	20,387	20,239	20,342	20,325
・セールスOS	3,673	3,531	3,575	3,697	3,481	3,347	3,383	3,400	3,604	3,481	3,489	3,392	3,485	3,475	3,410
・コールセンター	5,259	5,219	5,197	5,235	5,127	5,082	5,208	5,315	5,113	5,089	5,125	4,892	4,414	4,359	4,225
・ファクトリーOS	8,015	8,170	7,955	7,495	6,738	6,550	6,128	6,394	6,503	6,100	6,166	5,925	5,884	5,868	5,899
・介護	5,226	5,188	5,169	5,226	5,112	5,152	5,319	5,341	5,241	5,195	5,008	4,875	4,880	4,973	5,057
・建設技術者	550	546	576	613	690	729	775	854	1,088	1,211	1,277	1,309	1,576	1,667	1,734
<b>YoY</b>															
<b>国内Working事業</b>	-10.0	-12.8	-13.9	-12.8	-6.9	-7.9	-7.4	-4.3	1.9	1.0	1.2	-4.3	-6.0	-3.5	-3.5
・セールスOS	-21.1	-25.3	-25.2	-15.8	-5.2	-5.2	-5.4	-8.0	3.5	4.0	3.1	-0.2	-3.3	-0.2	-2.3
・コールセンター	-3.9	-11.0	-10.2	-10.3	-2.5	-2.6	0.2	1.5	-0.3	0.1	-1.6	-8.0	-13.7	-14.3	-17.6
・ファクトリーOS	-21.2	-19.1	-21.6	-19.8	-15.9	-19.8	-23.0	-14.7	-3.5	-6.9	0.6	-7.3	-9.5	-3.8	-4.3
・介護	16.4	7.7	5.9	-3.7	-2.2	-0.7	2.9	2.2	2.5	0.8	-5.8	-8.7	-6.9	-4.3	1.0
・建設技術者	23.6	14.7	13.4	12.1	25.5	33.5	34.5	39.3	57.7	66.1	64.8	53.3	44.9	37.7	35.8
<b>領域別売上</b>															
<b>国内Working事業</b>	19,781	19,814	20,301	20,153	19,832	19,762	20,518	20,612	20,866	20,658	21,421	21,189	20,187	20,514	20,941
・セールスOS	4,462	4,696	4,824	5,064	4,767	4,625	4,860	5,265	5,078	5,019	5,137	5,161	4,886	4,885	4,986
・コールセンター	4,222	4,190	4,243	4,211	4,220	4,216	4,334	4,271	4,154	4,130	4,221	4,078	3,884	3,753	3,721
・ファクトリーOS	5,390	5,163	5,199	4,833	4,698	4,594	4,642	4,381	4,472	4,404	4,410	4,353	4,449	4,474	4,631
・介護	3,317	3,323	3,297	3,281	3,325	3,396	3,537	3,420	3,526	3,407	3,402	3,285	3,312	3,339	3,398
・スタートアップ人材支援	300	304	267	402	526	569	537	717	709	729	769	792	730	879	826
・建設技術者	1,297	1,299	1,311	1,368	1,337	1,405	1,475	1,569	1,652	1,862	2,040	2,111	2,347	2,587	2,709
・その他	793	839	1,160	994	959	957	1,133	989	1,275	1,107	1,442	1,409	579	597	670
<b>YoY</b>															
<b>国内Working事業</b>	-1.0	-8.9	-6.1	-4.5	0.3	-0.3	1.1	2.3	5.2	4.5	4.4	2.8	-3.3	-0.7	-2.2
・セールスOS	-17.2	-26.5	-16.4	-9.6	6.8	-1.5	0.7	4.0	6.5	8.5	5.7	-2.0	-3.8	-2.7	-2.9
・コールセンター	9.2	1.1	-0.5	0.7	0.0	0.6	2.1	1.4	-1.6	-2.0	-2.6	-4.5	-6.5	-9.1	-11.8
・ファクトリーOS	-7.4	-14.8	-15.5	-15.4	-12.8	-11.0	-10.7	-9.4	-4.8	-4.1	-5.0	-0.6	-0.5	1.6	5.0
・介護	19.0	12.0	6.1	2.8	0.2	2.2	7.3	4.2	6.0	0.3	-3.8	-3.9	-6.1	-2.0	-0.1
・スタートアップ人材支援	14.9	-8.7	-13.9	12.0	75.3	87.2	101.1	78.4	34.8	28.1	43.2	10.5	3.0	20.6	7.4
・建設技術者	18.0	12.4	6.9	3.2	3.1	8.2	12.5	14.7	23.6	32.5	38.3	34.5	42.1	38.9	32.8
・その他	3.9	22.3	46.3	38.6	20.9	14.1	-2.3	-0.5	33.0	15.7	27.3	42.5	-54.6	-46.1	-53.5
<b>領域別営業利益*</b>															
<b>国内Working事業</b>	1,152	1,386	1,086	1,087	1,144	1,148	1,326	1,207	1,234	1,299	820	1,382	664	808	713
・セールスOS	263	456	384	365	404	327	421	462	464	441	371	442	282	284	337
・コールセンター	322	280	259	270	286	278	307	305	234	254	230	218	152	114	144
・ファクトリーOS	254	281	218	248	373	284	348	253	287	255	180	226	222	180	229
・介護	175	102	63	41	60	96	101	39	115	102	122	159	78	48	54
・スタートアップ人材支援	45	54	-10	70	142	176	131	155	190	197	-205	86	102	204	-84
・建設技術者	57	35	-25	-28	-207	-121	-129	-102	-273	-147	-85	7	-273	-59	-20
・その他	36	178	197	121	86	108	147	95	217	197	207	244	101	37	53
<b>領域別営業利益率*</b>															
<b>国内Working事業</b>	5.8%	7.0%	5.3%	5.4%	5.8%	5.8%	6.5%	5.9%	5.9%	6.3%	3.8%	6.5%	3.3%	3.9%	3.4%
・セールスOS	5.9%	9.7%	8.0%	7.2%	8.5%	7.1%	8.7%	8.8%	9.1%	8.8%	7.2%	8.6%	5.8%	5.8%	6.8%
・コールセンター	7.6%	6.7%	6.1%	6.4%	6.8%	6.6%	7.1%	7.1%	5.6%	6.2%	5.4%	5.3%	3.9%	3.0%	3.9%
・ファクトリーOS	4.7%	5.4%	4.2%	5.1%	7.9%	6.2%	7.5%	5.8%	6.4%	5.8%	4.1%	5.2%	5.0%	4.0%	4.9%
・介護	5.3%	3.1%	1.9%	1.2%	1.8%	2.8%	2.9%	1.1%	3.3%	3.0%	3.6%	4.8%	2.4%	1.4%	1.6%
・スタートアップ人材支援	15.0%	17.8%	-3.7%	17.4%	27.0%	30.9%	24.4%	21.6%	26.8%	27.0%	-26.7%	10.9%	14.0%	23.2%	-10.2%
・建設技術者	4.4%	2.7%	-1.9%	-2.0%	-15.5%	-8.6%	-8.7%	-6.5%	-16.5%	-7.9%	-4.2%	0.3%	-11.6%	-2.3%	-0.7%
・その他	4.5%	21.2%	17.0%	12.2%	9.0%	11.3%	13.0%	9.6%	17.0%	17.8%	14.4%	17.3%	17.4%	6.2%	7.9%

出所：同社IRファクトブックよりSIR作成 注：\*セグメント内の連結調整は含まず



② 稼働人員数（四半期末）



出所：同社IRファクトブックよりSIR作成

③ 海外Working事業 地域別売上収益、国内・海外契約形態別売上収益

百万円、%	FY21/3				FY22/3				FY23/3				FY24/3		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
<b>海外地域別セグメント</b>															
海外Working	8,457	9,444	9,368	9,649	11,417	12,292	12,723	12,313	14,042	15,702	14,204	13,589	14,182	14,258	13,630
・オーストラリア	7,181	7,972	7,627	7,769	9,147	9,813	10,016	9,221	10,668	12,098	10,770	9,893	10,504	10,220	9,436
・アジア	1,276	1,472	1,741	1,880	2,270	2,479	2,707	3,092	3,374	3,605	3,435	3,696	3,678	4,039	4,194
<b>YoY</b>															
海外Working	-7.1	1.8	3.7	9.9	35.0	30.2	35.8	27.6	23.0	27.7	11.6	10.4	1.0	-9.2	-4.0
・オーストラリア	0	9.2	8.7	16.4	27.4	23.1	31.3	18.7	16.6	23.3	7.5	7.3	-1.5	-15.5	-12.4
・アジア	-33.6	-25.5	-13.7	-10.8	77.9	68.4	55.5	64.5	48.6	45.4	26.9	19.5	9.0	12.0	22.1
<b>契約形態別売上</b>															
<b>国内</b>	20,178	20,086	20,559	20,480	20,136	20,079	20,963	21,159	21,399	21,214	22,052	21,728	20,253	20,582	21,011
・人材派遣	10,676	11,682	10,886	10,388	10,419	10,591	10,963	10,522	11,184	11,200	11,912	12,152	11,338	11,653	11,856
・ハイブリッド派遣	4,195	3,000	4,026	4,106	3,992	3,759	3,850	3,745	3,497	3,200	3,000	2,500	2,724	2,664	2,764
・業務請負	3,329	3,588	3,696	3,727	3,661	3,689	3,941	4,049	4,165	4,125	4,267	4,188	4,069	3,957	4,035
・人材紹介	659	550	478	620	782	781	778	881	1,043	1,029	964	1,026	1,126	1,138	1,005
・その他	1,319	1,266	1,473	1,639	1,282	1,259	1,431	1,962	1,510	1,660	1,909	1,862	996	1,170	1,351
<b>海外</b>	8,458	9,452	9,361	9,675	11,417	12,292	12,723	12,314	14,042	15,702	14,205	13,589	14,181	14,259	13,630
・人材派遣	7,770	8,578	8,367	8,521	9,737	10,432	10,939	10,330	11,918	13,356	12,267	11,746	12,227	12,216	11,782
・人材紹介	680	856	994	1,119	1,680	1,860	1,784	1,984	2,124	2,346	1,878	1,831	1,933	2,031	1,839
<b>YoY</b>															
<b>国内</b>	-0.6	-9.1	-6.6	-4.3	-0.2	0.0	2.0	3.3	6.3	5.7	5.2	2.7	-5.4	-3.0	-4.7
・人材派遣	8.3	12.1	-2.1	-3.3	-2.4	-9.3	0.7	1.3	7.3	5.8	8.7	15.5	1.4	4.0	-0.5
・ハイブリッド派遣	-11.1	-36.9	-13.7	-10.3	-4.8	25.3	-4.4	-8.8	-12.4	-14.9	-22.1	-33.2	-22.1	-16.8	-7.9
・業務請負	-8.7	-6.3	0.0	2.6	10.0	2.8	6.6	8.6	13.8	11.8	8.3	3.4	-2.3	-4.1	-5.4
・人材紹介	10.0	-18.9	-13.1	19.7	18.7	42.0	62.8	42.1	33.4	31.8	23.9	16.5	8.0	10.6	4.3
・その他	-10.5	-47.4	-25.4	-15.0	-2.8	-0.6	-2.9	19.7	17.8	31.9	33.4	-5.1	-34.0	-29.5	-29.2
<b>海外</b>	-7.0	2.1	3.6	10.7	35.0	30.0	35.9	27.3	23.0	27.7	11.6	10.4	1.0	-9.2	-4.0
・人材派遣	-1.7	5.1	8.0	12.5	25.3	21.6	30.7	21.2	22.4	28.0	12.1	13.7	2.6	-8.5	-4.0
・人材紹介	-41.8	-20.9	-19.1	-3.7	147.1	117.3	79.5	77.3	26.4	26.1	5.3	-7.7	-9.0	-13.4	-2.1

出所：同社IRファクトブックよりSIR作成



建設技術者領域の売上収益と営業利益の推移

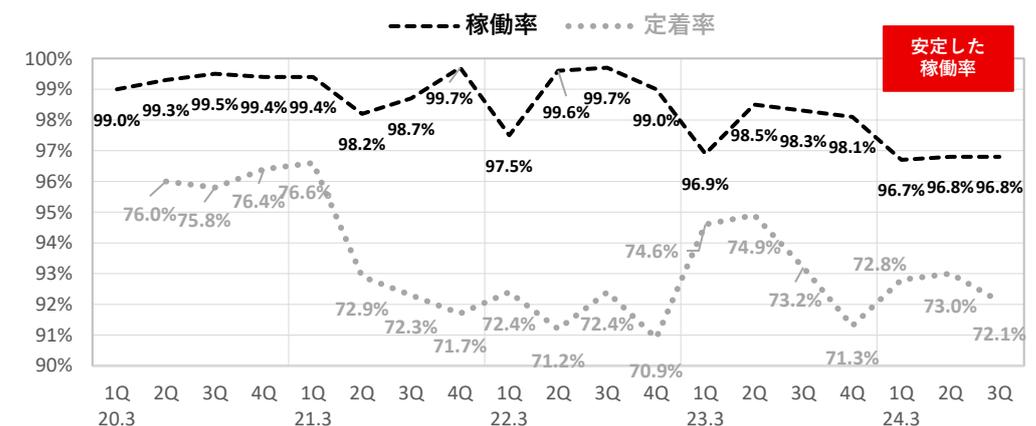
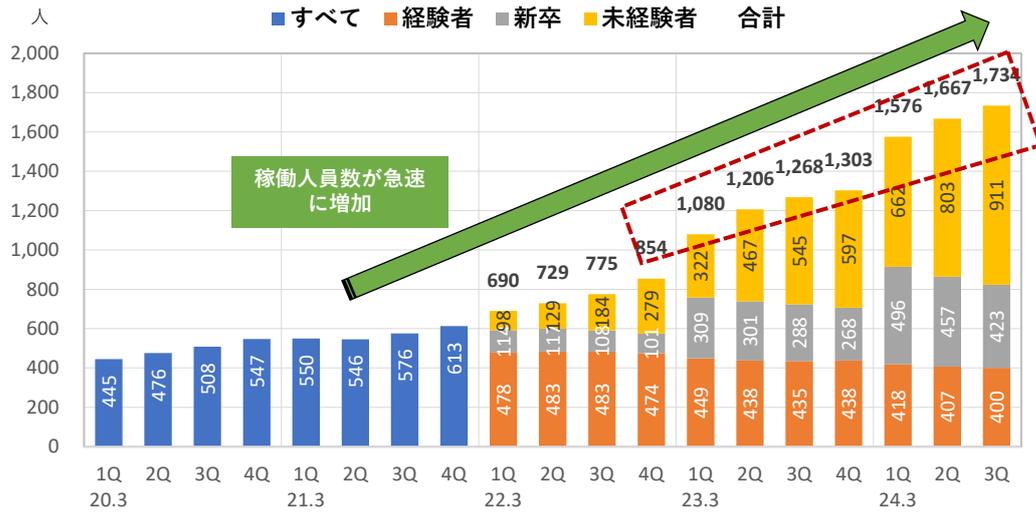
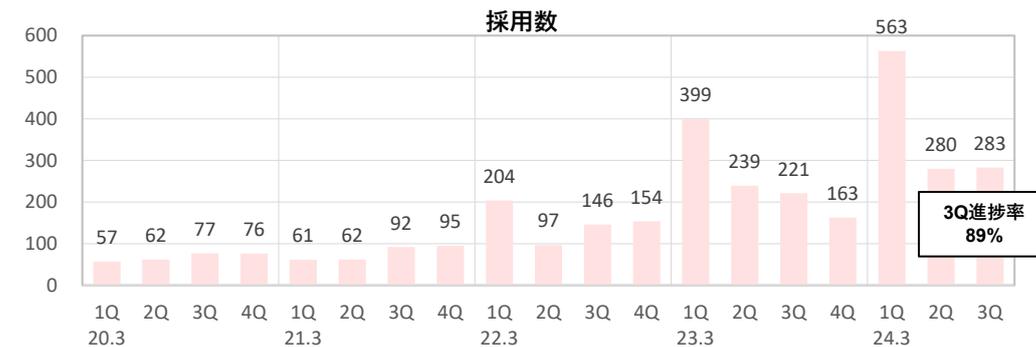
主要KPIの推移

同社は2月19日(月)午前9時から代表取締役社長 角 裕一氏による3Q決算説明会を開催。建設技術者領域においては、1Qに新卒社員の採用人数が過去最高を記録したことに続き、2Qおよび3Qも中途採用数が好調に推移しており、右3番目のグラフに示す稼働人数も引き続き高い伸びを示した。

3年前までは、熟練した技術を持つ経験者をメインで派遣していたため、高稼働率を維持しやすかったが、この2年間で1,000名以上の未経験者を採用したにもかかわらず、高い稼働率を維持している。

建設技術者の稼働人員数は過去3年間で3倍に増加

このデータから読み取れるのは、新規採用が過去3年間で9倍に増え(24/3期目標1,270人に対する進捗率は89%)、稼働人員数が3倍に増えたにもかかわらず、稼働率(在籍人数のうち稼働人員数の割合)は安定しており、定着率も安定している。



**WILL GROUP**

**正社員派遣の稼働状況**

9ヶ月累計では、24/3期の目標600名増に対し、233名と39%の進捗。セールスアウトソーシング領域は中途採用が伸び悩み、計画を下回った。主要な通信領域の顧客からの受注が低調だったことも要因の一つであり、年末商戦期に通信・販売両部門からの受注を着実に確保することに注力した3Qも低調に推移した。

**外国人雇用管理受託**

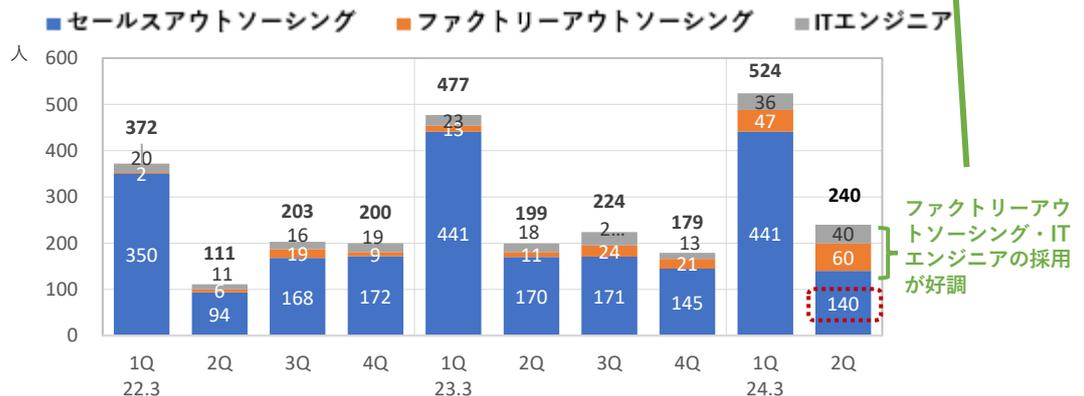
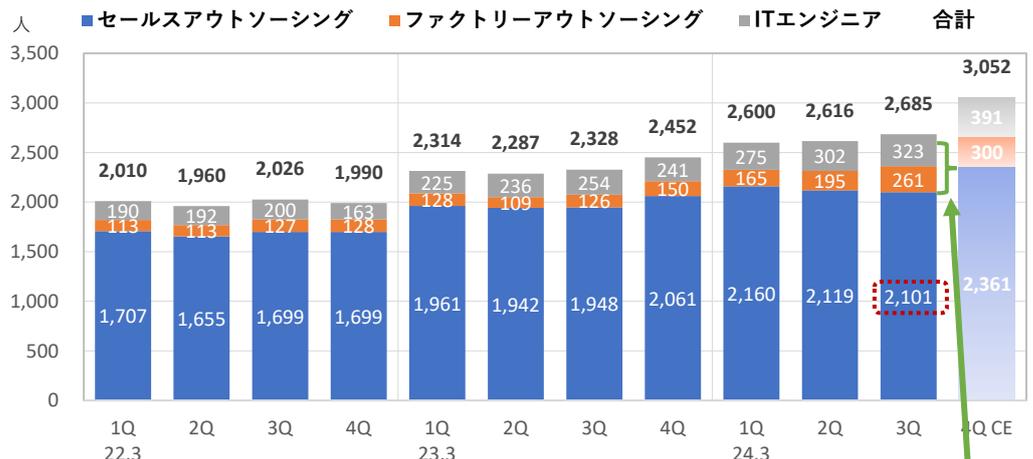
9ヶ月累計の外国人管理委託数は1,100名増の24/3期目標に対し403名増で、進捗率は37%と計画未達。介護領域は順調に増加したが、ファクトリーアウトソーシング領域では採用やオーダー獲得に苦戦した。

そこで、従来計画していた「国内居住の外国人」の紹介から「海外居住の外国人」の紹介に方針転換した。安定的にオーダーを獲得し紹介することで、大規模なオーダー獲得に繋がり、高い成果が出せるようになった。

一方で、この変更により、現地での日本語学習やビザの手続きなど、日本に渡航するまでの数ヶ月間のリードタイムがかかることになった。

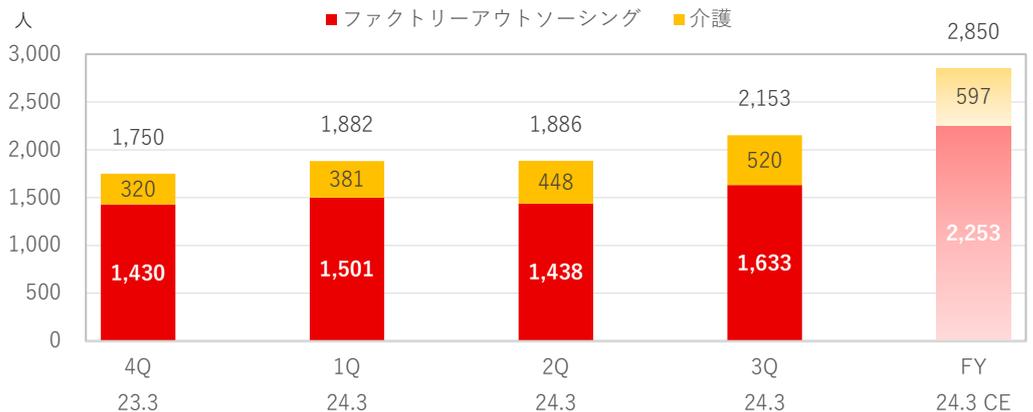
そのため、上期の遅れは現状取り戻せていないものの、4Qおよび来期に関しては、今期における遅れを取り返していけると考える。

**正社員派遣の進捗 (グラフ上：派遣者数、グラフ下：新規採用数)**



ファクトリーアウトソーシング・ITエンジニアの採用が好調

**外国人管理受託 (グラフ上：管理数、グラフ下：新規数)**



**外国人労働者の管理受託拡大への取り組み**

- 1) サービスの導入が完了しているわけではないが、インバウンド需要を見込んだ観光産業など、圧倒的に人が不足している分野を再ターゲットとする。
- 2) 2023年11月、インドネシア北スラウェシ州との間で、特定技能者等に関する協定意向書を締結。2025年3月末までに1,000人の入国支援を目指す。



3Qに伸長

**WILL GROUP**

**SESSA Smart Charts: 3年週足株価チャート、バリュエーション推移**

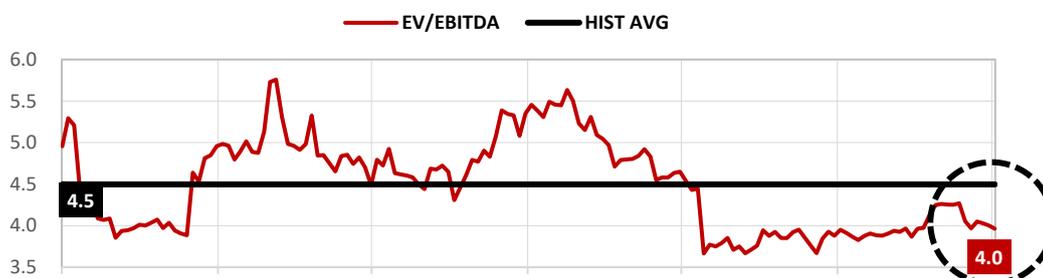
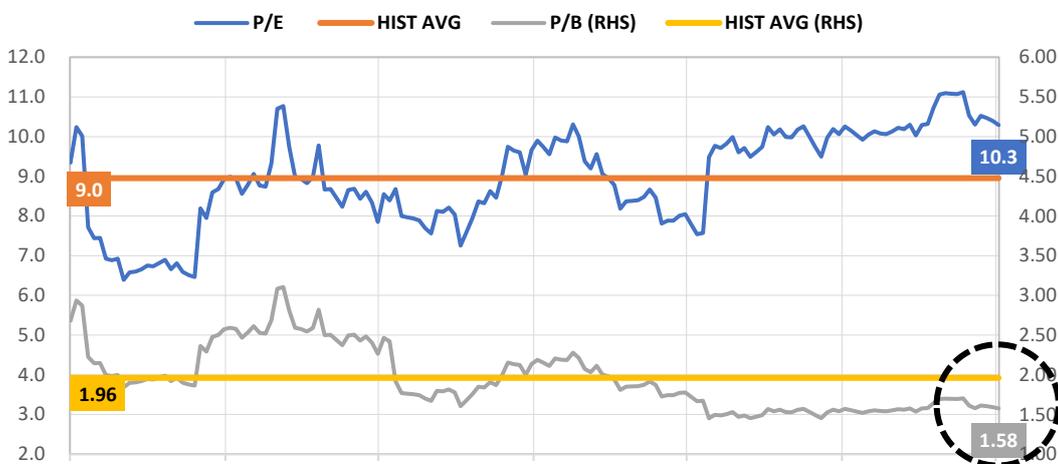


パフォーマンスとバリュエーション:  
SESSAスマートチャート

- ✓ フォースタートアップの株式売却益による法人税増加による当期利益 (ATOP) の下方修正により、現在のPERは過去平均を15%上回っているが、PBRは過去平均を19%、EV/EBITDAは同11%それぞれ下回っている。配当利回りは過去平均を13%上回っている。
- ✓ 次頁の相対株価チャートを見ると、先行投資による24/3期の収益低迷を反映し、株価がTOPIXに対して約27%アンダーパフォームしていることが分かる。
- ✓ 新しい中期計画には当初2年間の先行投資が織り込まれているが、新たなM&Aによる影響は含まれていない。SIRは現在の3.93%の配当利回りには投資家が次の成長カタリストを待つだけの価値があると考えている。



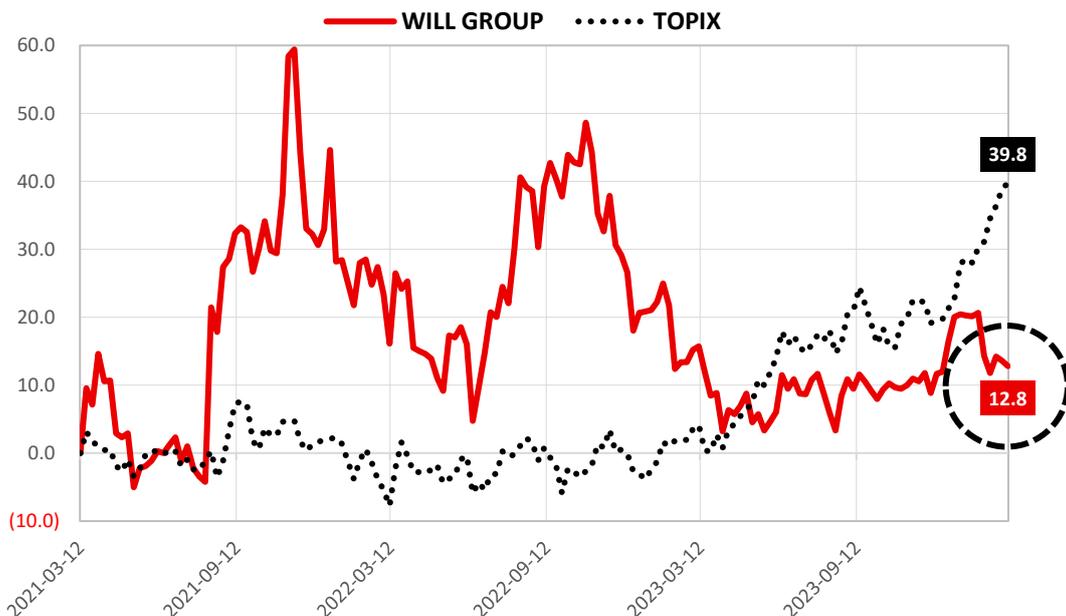
アナリストの見解



出所：SPEEDAデータよりSIR作成。FY24/3期のバリュエーションはLTMと会社計画値に基づく。

**WILL GROUP**

3年間週足相対パフォーマンス

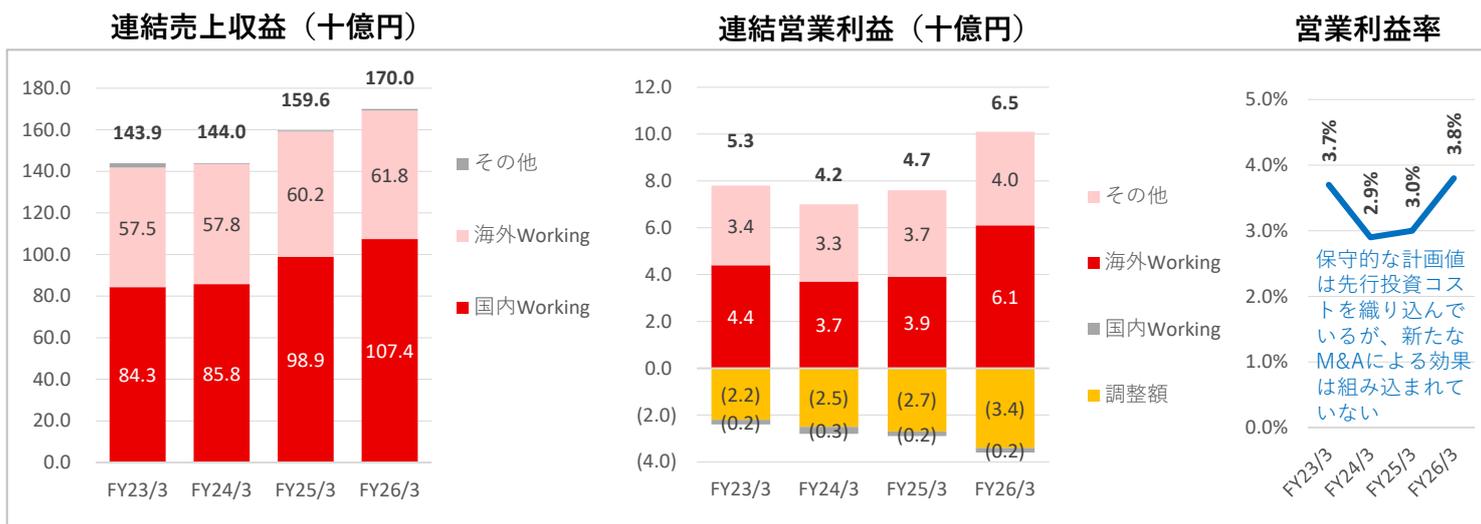


出所：SPEEDAデータよりSIR作成。

新中期経営計画での株主還元方針

従来の利益配分方針は、配当と自己株式取得を含めたトータル・リターン方式を採用し、連結配当性向30%を目標としていた。新中期経営計画「WILL-being 2026」では、国内事業の自律的な再成長に向けて戦略的に販管費35億円を増額し、加えてM&Aに100億円投入するため最初の2年間は減益を織り込んでいる。ただし、新中期計画には新たな M&A による影響は含まれていない。SIR は現在の 3.93%の配当利回りには、投資家が次の成長カタリストを待つだけの投資価値があると考えている。

ウィルグループ中期経営計画「WILL-being 2026」 (FY24/3 – FY26/3)

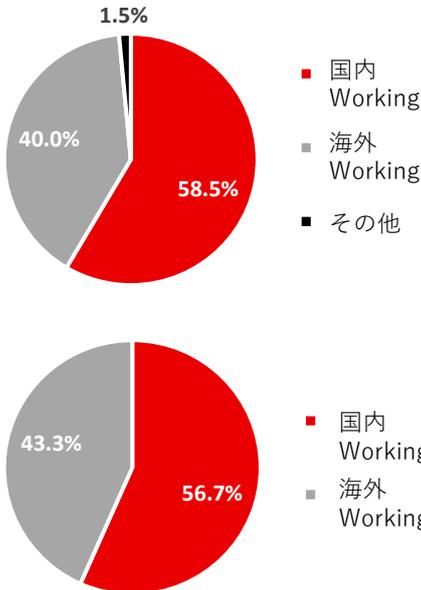


出所：同社中期経営計画資料よりSIR作成

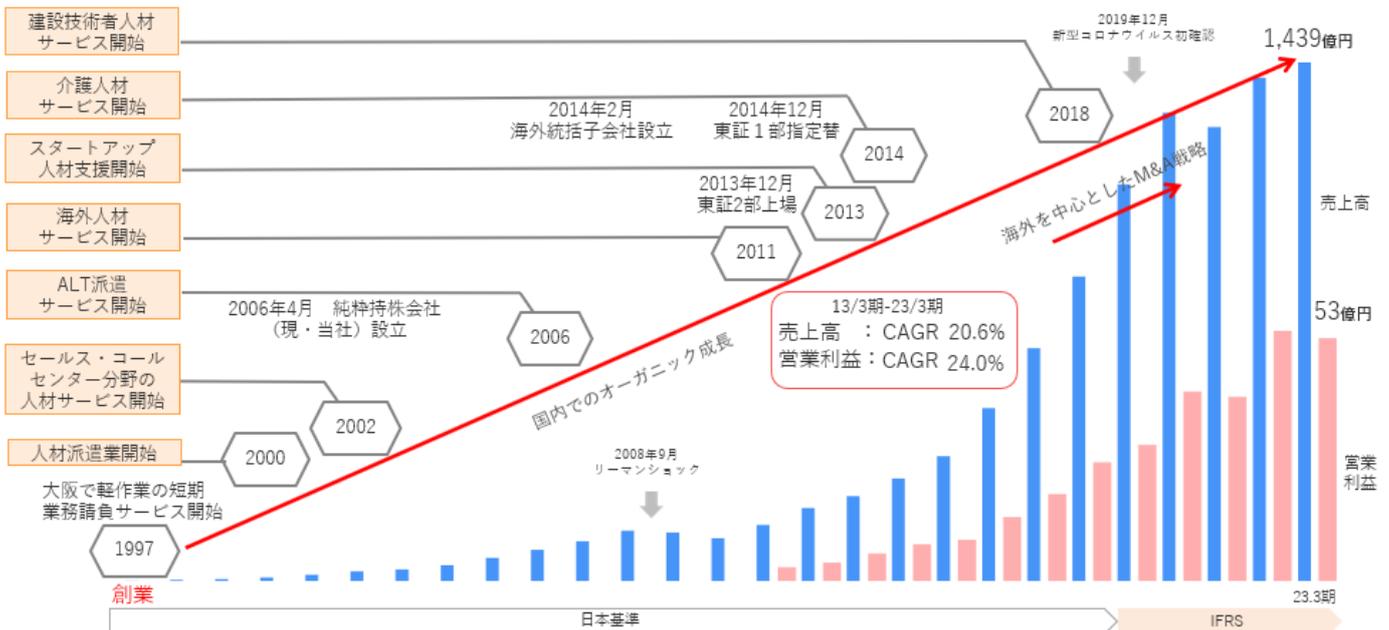
FY23/3期 連結売上収益:  
143,932百万円 (上グラフ)  
FY23/3期 連結営業利益:  
5,318百万円 (下グラフ)



# WILL GROUP



## ウィルグループ 沿革と決算の歩み



出所: (左上グラフ) 同社決算短信よりSIR作成。(右上及び下図) 同社IR資料より抜粋。

## LEGAL DISCLAIMER

### ディスクレームー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



**SESSAパートナーズ株式会社**

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a  
[info@sessapartners.co.jp](mailto:info@sessapartners.co.jp)